

わが職場

弊社は、昭和七年普通寺市において、わらの「ひも」作りからスタートしました。

時代は、わらからポリプロピレン、ポリエチレンと呼ばれるプラスチックに変わり、昭和四十一年にはプラスチック製の「ひも」の生産を始めました。昭和四十六年には、その「ひも」を基に紙袋の把手の分野に参入しました。昭和六十一年には、プラスチックの成型品の把手の生産を始め、今では、他社のまねのできない圧倒的な品揃えと品質で日本の紙袋の把手のシェアの六〇%のシェアを頂くようになりました。

弊社の強みは、「樹脂を自在に操ることで、進化する把手の見た目の強度、風合いを自由に作り出す」とであり、時代にあわせてさまざまな商品を生み出してきました。現在では、「ひも」は、再生原料を使用したエコマーク商品や、とうもろこしを使用した生分解性の「ひも」などに進化を遂げています。

平成に入り、紙袋の把手

の分野を超え、シールタイプのダンボールの持帰り用把手「タックハンドル」を開発し、特許を取得、ビルメーカー、医薬品メーカー、家電量販店など、お客様も広がって参りました。また、プラスチックの成型品の分野では、デザイン、CAD設計から、生産、2次加工（転写、パット印刷）、アッセンブリー、配送までの全てを自社で行い、日本最大のテーマパークのポップコーンのバケツも弊社で生産しています。

現在、従業員は四八名で、二四時間体制で生産を行っており、製造工程は、自動化され、広い工場内を一〇〇一二名で担当しております。比較的若い職場ですが、社員の一人一人が大きな責任を持ち、プライドと自主性を持って仕事をしています。

弊社で製造したものは、非常に身近で皆さんの手の触れるところで活躍しています。私たちは、我々の生活をより便利に幸せにする商品を「私たちは、幸せを運んでいる」をモットーに皆様にお届けいたします。

松浦産業株式会社

取締役 松浦 英樹